



# 改革継続・生活優先予算

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎

はじめに

平成二十二年度当初予算は、平成二十一年度三月補正予算と連携して、雇用・経済対策に積極的に取り組むとともに、「県政刷新大綱」を踏まえた歳出削減・歳入確保の取り組みを継続しつつ、「力みなぎる・かごしま」の実現に向け、「持続可能性」、「産業おこし」、「鹿児島おこし」の「三つの挑戦」と「環境」、「食料」、「医療・福祉」の「三つの課題」への重点的な予算配分を行いました。さらに、国民の暮らしの豊かさに力点を置く国の政策の方向性も踏まえ、「改革継続・生活優先予算」としての編成を行った結果、二年連続のプラス予算といたしました。

**オープンな県政の展開と持続可能な行財政構造の構築**

職員数の縮減や地域振興局・支庁の機能強化、庶務事務等を集中処理するためのシステム開発等を行うとともに、歳入確保に向けた取組みとして県税徴収体制の強化を図ってまいります。

**生涯を通じて安心して暮らせる社会づくり**

地域救命救急センターを県立大島病院に整備し、同病院を実施主体としたドクターヘリの導入を平成二十五年度中を目途に進めてまいります。また、肺がんの早期発見を促進するため、低線量CTによる肺がん検診費用を助成します。

さらに、地域の介護ニーズに適切に対応するため、特別養護老人ホームなどの介護施設について積極的に整備を進めてまいります。

**安心・安全な社会の形成と県土づくり**

本年四月に施行される「暴力団排除活動の推進に関する条例」に基づく広報や啓発

活動に取り組むとともに、訴訟や暴力団事務所買取りなどに活用する資金を貸し付けるための基金を創設いたします。

**人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり**

世界自然遺産の島・屋久島において、CO<sub>2</sub>の発生が抑制された先進的な地域づくりを促進するため、電気自動車や充電器設備の民間への導入支援などを行うとともに、住宅用太陽光発電システムの設置に対する助成や、県民や事業者が自ら削減できない温室効果ガスの排出量について、森林整備などにより埋め合わせる仕組みの検討などを進めてまいります。また、公共関係による産業廃棄物管理型最終処分場の実施設計などを行い、安全性の高い、全国でもモデルとなるような施設の整備に向けて取り組んでまいります。

**新時代に対応した戦略的な産業おこし**

畑作農業経営の体質強化のため、国営かんがい排水と連携し、農業用排水施設、区画整理などの基盤整備を進めてまいります。また、「上海マーケットプロデューサー」の活動拠点を上海に設置し、その活動を通じて県産品の物流ルートを確保し、安定した販売市場としての確立を図るとともに、中国からの観光客誘致を促進してまいります。

**九州新幹線鹿児島ルート**

の全線開業による観光客の誘致や県産品の販売促進などさまざまな効果を県内全域に波及させるため、「花」、「灯り」、「食」をテーマとした新幹線関連イベントを県内全域で開催し、全線開業時には、鹿児島中央駅などで開業記念イベントを実施することとしております。

**誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくり**

ふるさと雇用再生特別基金、緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して約五千人の雇用を創出します。また、「かごしまニューライフプラン検討委員会」を設置し、ふるさと鹿児島で生涯安心して働き、生活できる社会づくりを支えるための施策を検討してまいります。

**快適で活力ある生活空間の形成**

県民の都市緑化への意識高揚や九州新幹線鹿児島ルート全線開業にあわせて「本物。鹿児島県」の情報発信を図るため、「第二十八回全国都市緑化かごしまフェア（愛称・花かごしま2011）」を開催することとしております。

**農山漁村の活性化と奄美・離島の振興**

集落営農を育成するため、集落営農推進リーダーを育成するとともに、地域の合意形成活動を支援します。また、離島漁業の再生と漁村の機能の維持・増進を図ってまいります。

**共生・協働による温もりのある地域社会づくり**

地域振興局・支庁ごとに地域の課題解決に向けた取組みを進めるための体制を整備し、協働の具体的な取組みを検討するとともに、啓発セミナーなどを実施いたします。

**教育の再生と文化・スポーツの振興**

障害の程度が比較的軽い知的障害者の教育の充実を図るため、鹿児島東高校内に高等特別支援学校を整備します。また、「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録に向け、関係県・市一体となって取組みを着実に進めてまいります。